



◆令和7年度の予算を決める3月定例会が終了！◆

～市議会議員の任期もあと1年！ 残り1年気合を入れ直して頑張ります！～

春寒もようやく和らぎ、日ごとに暖かさを感じる季節になりましたが、季節の変わり目で寒暖差が激しく、体調を崩しやすい時期でもあります。皆様ご自愛くださいね！

3月定例会の一般質問は下記の2項目です。その場に応じたアドリブはまだまだですが、以前よりは落ち着いて質問や再質問もできるようになって、少しだけ成長した気がしています😊

私が議員になってほぼ3年が終わり、残す任期もあと1年少々。今後も、みなさんのお役に立てるように精一杯頑張っていきたいと考えています。まだまだ未熟ですが、応援していただけると嬉しいです。

- ① 土曜授業について…今年度は目的も変えて回数も減らしたけど、来年度は？ 廃止の方がいいのでは？
- ② バイパス開通にともなう関宿橋東側サイクリングロードの安全対策について…早急な安全対策を！

① 千葉県では野田市だけが実施している土曜授業ですが、賛成の方、反対の方それぞれいると思います。

私は今まで何回か土曜授業の見直し、廃止を訴えてきました。近隣で実施している自治体はごくわずかで、草加市や東京の世田谷区でも今年度で廃止を決めており、時代の流れに逆行しているのは明白です。

野田市も今年度は回数を5～8回と各校の実情に任せて実施したものの、6回実施したのは2校だけ、ほとんどの学校は5回の実施でした。これを見ても先生方が土曜授業に苦慮していることが分かります。

来年度も同じように実施するそうですが、先生方の負担軽減、野田市の教員不足解消という観点からも、廃止を含めた今後の見通しを質問しました。現場の先生方の声を大切にしてほしいと心から思います。

【答弁】

今年度は目的や回数を変えて実施した1年目であり、その総括がまだ行われていないので、来年度も今年度と同じ内容で実施する。今年2月に実施したアンケート調査では、小学校1年生にも回答をお願いし、継続した方がいいか、廃止した方がいいかの設問も用意した。

土曜授業検討委員会で7月頃にその調査結果等も考慮して、再来年度以降の計画を立てる予定。

② 昨年6月定例会でも質問した、サイクリングロードの関宿橋東詰の平面交差の安全対策ですが、3月1日(土)に自転車で関宿城まで27kmを往復して写真を撮り資料として見てもらいながら、車止めしかない危険な現状を訴え、早急な安全対策をお願いしました。

関宿城のすぐ近くにお住いの、仲良くしてもらっている筋金入りのサイクリストの友人のお話だと「関宿城はサイクリストの聖地と言われるほど人気があり、近隣他市、埼玉県、茨城県、都内などから訪れるサイクリストが急増してる」そう。市でも県や警察に要望はしているようですが、一日も早い横断する際の安全対策が必要だと思います。



【答弁】

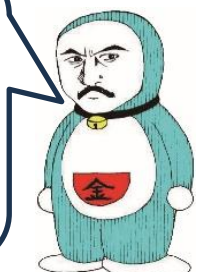
野田市でも、バイパス開通後の交通量や走行している車のスピードなどに注視して、県や警察に横断歩道や信号の設置を要望している。

市としても、今後も引き続き信号や横断歩道などの早急な安全対策を求めています。

★一般質問を終えて★

野田市HP→市議会→議会中継→令和7年3月定例会→3月7日一般質問(1時間10分後)で、私の一般質問が見られます。議場の天井のLED照明が2列分くっきりと頭に反射して恥ずかしい△_△ 土曜授業の質問でまとめの際、市長からのやじ？独り言？にスルーできずに反応してしまい、少々お見苦しい展開になっていますが、その模様も見ていただければと思います。

土曜授業もサイクリングロードも以前にも質問したわけで、私のような一人で活動している議員が訴えたところでなかなか改善してもらえませんが、これからも頑張りたいと思います！



★3日間の「予算審査特別委員会」で慎重に審議し、令和7年度の予算案が過去最大の予算規模で可決！★

今議会では、令和7年度の野田市の予算を決める「予算審査特別委員会」が、3日間の日程で行われました。議員の中から選出された8名の委員はページ毎に慎重に審議して65億8200万円、12、3%増の601億4700万円で、一般会計予算案が可決されました。

私は3日間、傍聴席の最前列に陣取って傍聴しました。8名の委員は、それぞれに金額や内容の確認、細かい疑問点などを何度も質問して、市の関係部署の担当者の方々がそれに対して詳細に答えることを繰り返し、来年度の予算案が可決されたのでした！



★トピックス・その1★

1月27(月)28(火)に「野田の明日を考える会」の金木祐輔として、1人で天理市と豊田市に行政視察に行ってきました。

天理市は「みんなの学校プロジェクト」という取り組みを推進しています。学校を地域社会の学びと支え合いの拠点に位置付け、例えばある小学校では、ボランティアの方が登校の見守り(学校まで子供と一緒に歩いて行く)をした後に空き教室に集まり、時には児童が淹れてくれたお茶を飲みながら歓談し、先生方と意見交換、情報交換をする機会を作っているのです。

子供たちが登校すると門を施錠してしまうのが普通ですが、天理市では、信頼できる複数の大人の目にずっと守られた学校を目指しているのです。「学校は地域の財産、子供は地域の宝」という考えから、図書室にも地域のボランティアの方が常駐して、子供だけでなく地域の方も気軽に利用でき、学校が地域と密接に関連したコミュニティとなっているのです。

「子供たちが挨拶をするようになった」、「地域の方々と子供たちが顔見知りになり、常に見守られていて安心できる」など、効果も絶大！とても魅力的な取り組みで、野田市でも取り入れられないかなあと思いました！



天理市教育委員会の皆さんと

豊田市は、50以上の民間企業と連携して、介護予防「ずっと元気！プロジェクト」を展開しています。企業のノウハウを生かして、運動・趣味・健康など様々な“社会参加”プログラムを、高齢者が選んで体験できるシステムなのです。

前にもお伝えしたように私自身も「介護支援ボランティア」として、自宅近くの施設でボランティア活動が続けていますが、高齢者自らが色々なプログラムに積極的に参加することによって、健康寿命の延伸に繋がる取り組みです。

「100歳まで猫背にならないためのピラティス講座」「ヒップホップダンス教室」「カラオケ交流会」「初心者シニアのドローン教室」「就労支援サービス」など多彩！

野田市でも、高齢者の方々のために考えてほしい素晴らしい取り組みです。

実はフルマラソンを走った、その次の日からのハードスケジュールでしたが、どちらの市役所でも、筋肉痛でロボットのようないき方をしている私を見て、心配してくれながらも大笑いをされて、終始和やかな視察になりました(笑)(>_<)



★トピックス・その2★

教え子から LINE が送られてきました。「お母さんが夜、清水公園駅東口から川沿いに散歩をするんですが、道が暗くて凸凹で歩きづらい怖い、と嘆いています💧 先生、何とかありませんか？」という相談でした。

実際に自分の目で見ないと状況も分からないし、自分の気が済まない。市にも繋ぎにくいので、とっても寒かった2月のある金曜日の18時に、清水公園駅東口でご両親と待ち合わせ、道案内をお願いして一緒に歩いてもらいました。すると、オレンジ色の街灯がいくつか消えて暗い場所も多く、道路も驚くほど凸凹で本当に歩くのが怖いくらいだったのです(T_T)

休み明けの朝、早速「道路サービス課」に相談に行きました。すると、「野田市では、今年の6月完了を目指し、全ての水銀灯とナトリウム灯(オレンジ色の街灯がこれ)を、順次 LED に替える作業をしているので、今少し待っていてほしい。川沿いの歩道は、元々地盤が軟弱だったところ、東日本大震災で液状化によりかなりガタガタで凸凹になった。状況は市として把握しているが、その歩道は県の管轄で、今までも何度も県に要望はしているのだが…」と、回答をいただいたのです。

教え子を通して、この回答を母さんにお伝えしたところ、納得してもらえ喜んでいただきました。私にできるのは、こんな小さなことばかりですが、少しでも市民の方のお役に立てたら嬉しい限りです😊

文責 野田市議会議員 『野田の明日を考える会』金木祐輔